

ため池・湿地・棚田の維持管理のための基本の方針

本事業地における里山（アカマツ林、コナラ林、クヌギ林）の調査データに多さに比べ、里地環境であるため池、湿地、棚田の生物情報は非常に少ないので現状です。特に棚田やその周辺の畦、ため池の生物情報は圧倒的に少なく、それらの現状も十分には把握されていません。なお湿地では保全方策が検討され、活動が進みつつあります。このような活動との連携を図るとともに里地環境としての生物データの収集を図り、生きものの多様性の維持を図ります。

A. 丸山湿原

西谷地区湿原群保全活用研究会との連携による丸山湿原の保全・活用

B. 松尾湿原

湿原の再生と拠点施設を活用した環境教育や広報による啓発活動

C. 柏原の棚田

棚田、畦、ため池などの生物情報の収集

A. 丸山湿原 【兵庫県最大級の湿原の保全と活用】



兵庫県でも最大級の湿地。多くの貴重な植物、昆虫類が確認されており、大規模な保全、再生のための整備が実施されています。地元との連携を図り、維持管理の継続、湿原の活用方策を探ります。

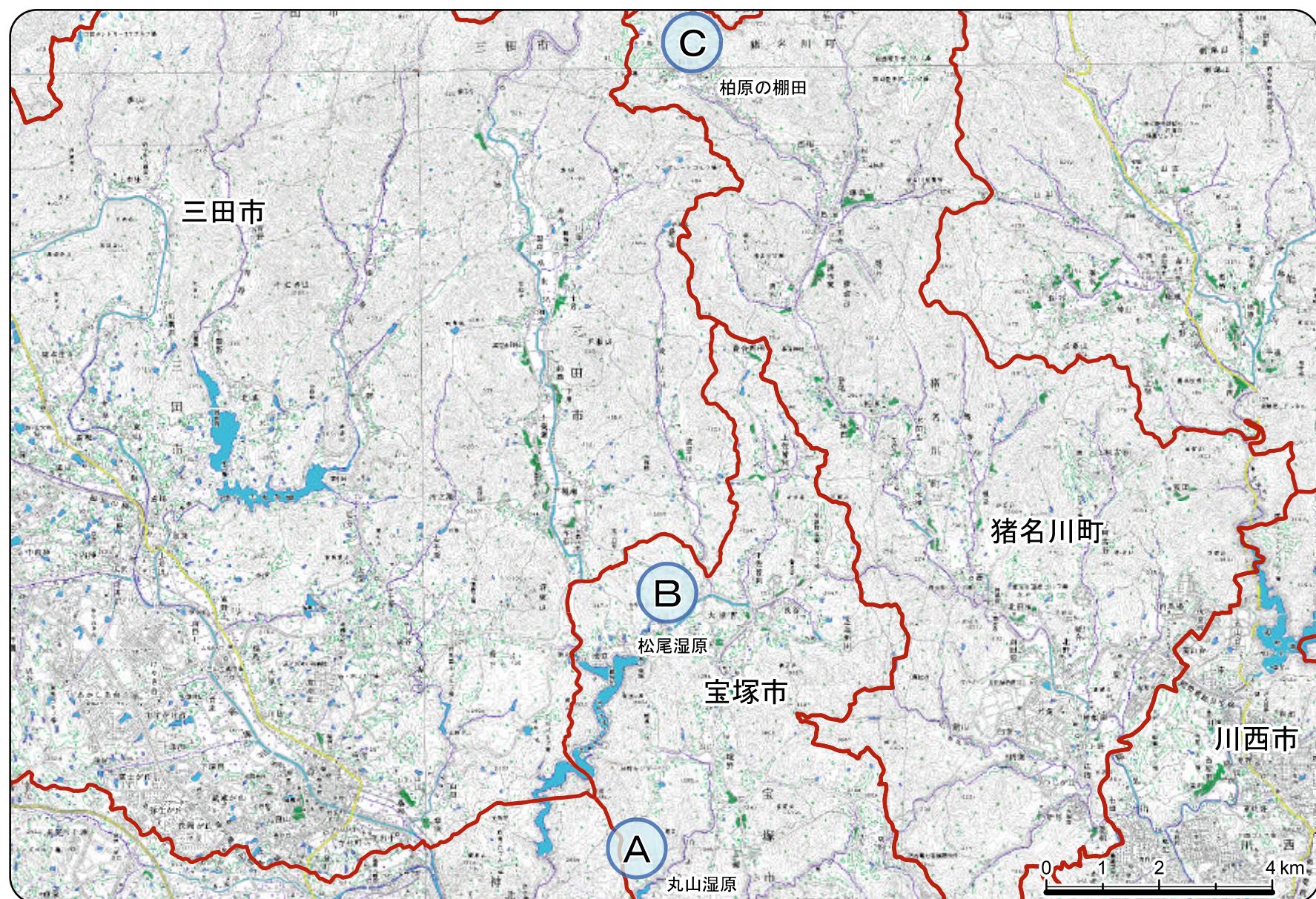
活動主体：西谷地区湿原群保全活用研究会

活動内容：丸山湿原やその周辺の里山の保全、維持管理

協力：人と自然の博物館

課題：具体的な湿原の管理と活用メニューの検討

景観と生物多様性(特に水生生物)の保全と維持



B. 松尾湿原 【湿原の再生と施設を活用した環境学習・広報】



宝塚市の天然記念物である松尾湿原は、荒廃が進んでいましたが、重機を入れるなどし、保全再生に向けた活動が行われています。またここは宝塚市立少年自然の家があり、環境学習の拠点として活用できます。

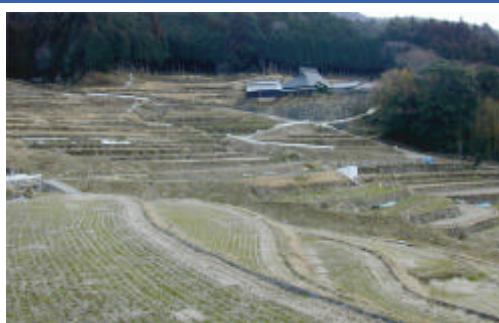
活動主体：足立先生（宝塚市自然保護協会）・少年自然の家

活動内容：松尾湿原の再生、保全

協力：」

課題：各機関との連携の強化と具体的メニューの検討

C. 柏原の棚田 【里地環境の生物情報の収集】



猪名川町柏原には、山腹を利用した見事な棚田が維持されています。しかし、その場所の生物情報はほとんどありません。棚田、畦、その周辺のため池などには多様な生物群が生息していると考えられ、現状の把握が急がれます。

活動主体：未定

活動内容：棚田およびその周辺環境の生物情報の収集

協力：

課題：調査を行う主体や協力者の具体化